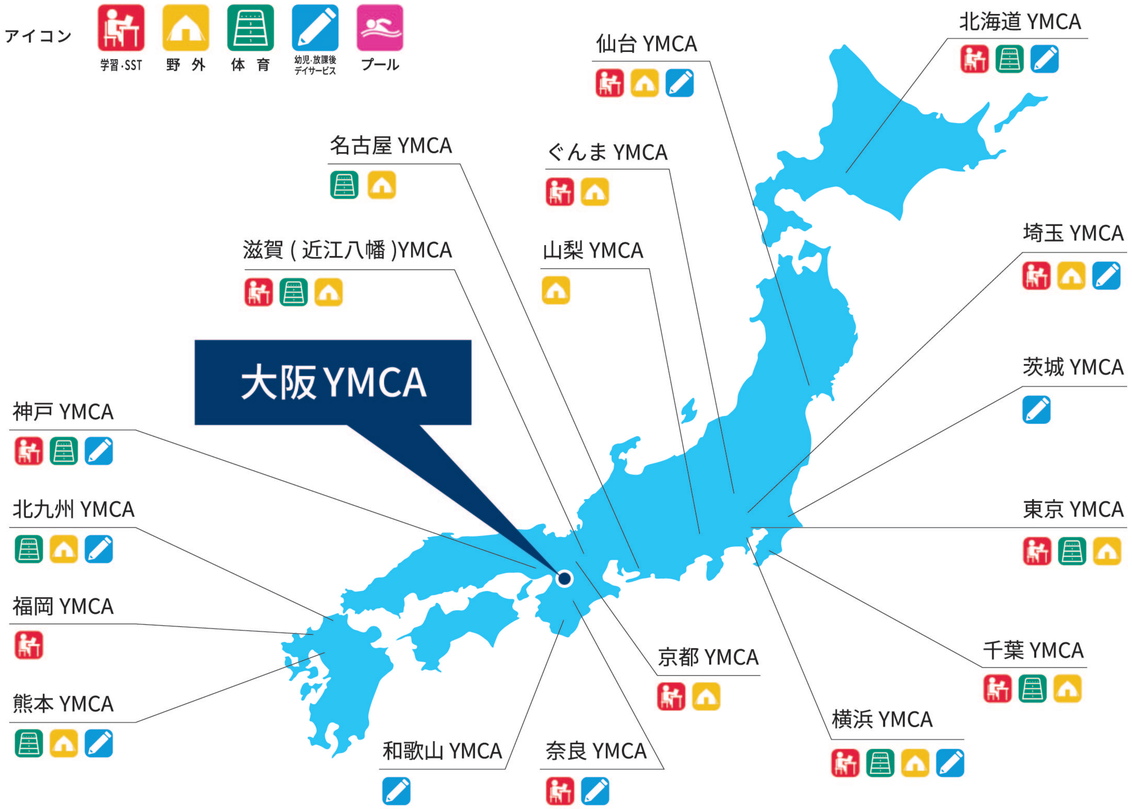
全国 YMCA の発達支援事業

アイコン　学習・SST　野外　体育　幼児・放課後デイサービス　プール



大阪 YMCA

サポートキッズ（児童発達支援事業）
TEL:06-6779-8361

YMCA 総合教育センター
TEL:06-6441-0988

土佐堀 YMCA (ウエルネス)
TEL:06-6441-0895

高槻 YMCA (ウエルネス)
TEL:072-682-1322

南 YMCA (ウエルネス)
TEL:06-6779-8362

北 YMCA
TEL:06-6842-3360

大阪 YMCA
サポートクラス

〒550-0001　大阪市西区土佐堀 1-5-6　大阪 YMCA 会館 4F

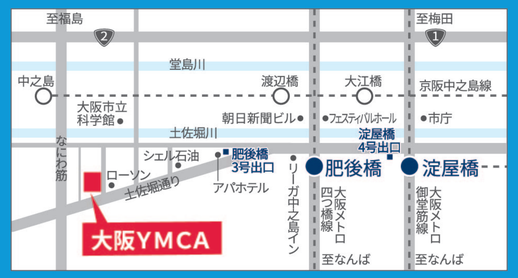
お申し込み
お問い合わせ

06-6441-5070

supportclass@osakaymca.org

FAX　06-6443-7544

電話受付時間　火～金 11:30~18:30 土 9:00~17:30



- 大阪メトロ　肥後橋駅 3 番出口・淀屋橋駅 4 番出口　徒歩 7 分
- 京阪中之島線　渡辺橋駅下車　徒歩 11 分
- 大阪駅前より大阪シティバス 75 なんば行・88 天保山行　土佐堀 1 丁目下車

サポートクラス

ことばや社会性に不安のある子どもたちの
発達・自立を小集団で長期的にサポート

YMCA は育てます

自分らしく **学ぶ力**

自分らしく

自立していく力

大阪YMCA

大阪 YMCA サポートクラスとは？

学習や対人関係、コミュニケーションに不安を抱えている子どもたちの
全体的な発達や自立を長期的にサポートするクラスです。

大阪YMCAサポートクラスは、学習につまずきを持つ子どもたちの全体的な発達をサポートすることを願って作られました。LD（限局性学習症）や ASD(自閉スペクトラム症)、ならびにその周辺の発達につまずきを持つ知的な遅れを伴わない子どもたちを対象とし、神経心理学的な観点からつまずきの原因を考え、個々のニーズにあった学習・活動を小集団の中で進めていきます。

サポートクラスの目標

- 幸せな社会生活を送る上で、また豊かな人間関係を築き続けていくために、もっとも大切なコミュニケーションスキルの習得を目指します。
- より良く生きていくために必要な学ぶ力の習得を目指します。
- 自分のわからないことを明らかにし、わからない時の解決方法を学びます。このことによって自己理解を深めます。
- 楽しく達成感のある学び、そして友達と出会う交流の場を拡げます。

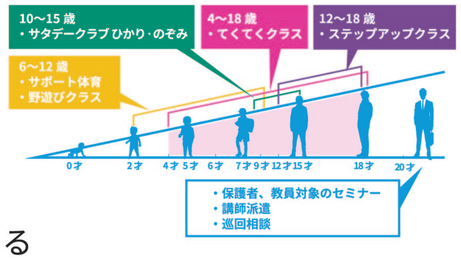
サポートクラスの特色

1 小集団の中で互いに学び合える

- 入会前に発達検査と保護者への聞き取りをもとにアセスメントを行います。
- お子様の課題を明確にし、個別指導計画をもとに、お子様の可能性を最大限引き出すことのできるグループを構成しています。
- ICT 導入により、わかりやすさの工夫をしています。
- お子様のクラス中は、保護者同士の語らいや情報交換をする場にもなります。

2 幼児から青年期まで幅広く支援

- 幼児期から青年期までの一貫したトレーニングにより、長いスパンでお子様の成長を支えます。
- 思春期や青年期を想定した上で、幼児期から習得しておくべきことを見極め、お子様の支援内容を組み立てています。
- 自己受容をベースに自己肯定感を高め、未来への「希望」を持てるように支援しています。



3 自立に必要なスキルを学べる

- ことばやコミュニケーションスキルが向上し、社会性が身につき、自分らしく活動できるようになります。
- 安心できる居場所だからこそ、自分のことを客観的に見ることができます。
- 早期から進学や働くことへの意識や意欲、余暇活動の過ごし方などを学ぶ場となり、社会人へのステップを踏んでいきます。
- YMCA の施設を利用してキャンプを行っています。野外活動の専門であるウエルネスのノウハウを活かし、サポートクラスでの学びを実践する場になっています。

4 指導者は専門資格保持者

- 言語聴覚士、臨床心理士、特別支援教育士、公認心理師など専門資格保持者が指導にあたります。
- それぞれの専門資格の強みをいかして、ことばやコミュニケーションスキル、社会性や対人関係、情緒面など、お子様のニーズに沿った指導を行っています。
- 専門資格保持者が採用後に半年の研修期間を経て、サポートクラス指導者となります。
- 指導者のさらなるスキルアップを目的として定期的に研修を実施しています。
（関西地区 YMCA 合同研修や指導者相互研修・主催セミナーの研修など）
- 竹田契一先生のスーパーバイズと太田信子先生によるアドバイスを受けています。

プログラム一覧

YMCA だからできる多彩なプログラム
成長過程のお子様に、それぞれのニーズや習熟度にあわせた幅広い学びをご提供します。

- 個人のニーズと能力に適した指導を行います。
- 自信をつけるために「成功した」や「達成できた」などが実感できるよう、配慮します。
- 基本的な学習スキルに常に立ち返り、確認しながら、現在持っている知識と関連づけて学習を進めていきます。

● てくてくクラス
週 1 / 幼児 年中～ / 小学生 / 中学生 / 高校生

● サタデークラブ
月 1 / 小学生 4~6年 / 中学生

● ステップアップクラス
月 1 / 中学生 / 高校生

● 特別プログラム
不定期 / 小学生 / 中学生 / 高校生＋以上 / 保護者

ウエルネスセンター連携プログラム

● サポート体育
週 1 / 幼児 年長～ / 小学生

● 野遊びクラブ
月 1 / 小学生

参加例

A さんの場合

今までは…
小学校入学へ向けて理解力と表現力を身につけたい…

ことばの概念が身についてきたよ

これからは…
小学校は集団活動が多いから、会話や話し合いも練習しておきたい

てくてくクラスの詳細は P3 へ

てくてく幼児クラス（週 1 回）年中～年長まで在籍 → てくてくクラス（週 1 回）小学 1 年～6 年まで在籍

B さんの場合

今までは…
楽しい活動の中で友だち作りの練習がしたいな

友だちとのやりとりが上手くなったよ！

これからは…
もっと長い活動を通して、友だちと一緒に余暇活動をたのしみたいな

サタデークラブの詳細は P4 へ

サタデークラブ　ひかり（月 1 回）小学 4～6 年まで在籍 → サタデークラブ　のぞみ（月 1 回）中学 1～3 年まで在籍

C さんの場合

今までは…
初めてのこと、みんなと過ごすことが苦手で考え込みすぎるところも…

安心して一緒に過ごせる友だちができたよ

これからは…
無事高校に合格 !! でも大学や就職のために月 1 回は練習したいな

ステップアップクラスの詳細は P4 へ

てくてくクラス（週 1 回）小学 3 年～中学 3 年まで在籍 → ステップアップクラス（月 1 回）高校 1～3 年まで在籍

D さんの場合

今までは…
友だちと体を動かして遊びたいけれど、不器用だし運動も苦手…

運動をみんなと楽しめるようになったよ

これからは…
中学に入学してみんなともっと上手に付き合うにはやりとりも学びたいな

体育クラス・野遊びクラス・特別プログラムの詳細は P5～

サポート体育（週 1 回）　小学 1～6 年まで在籍
野遊びクラブ（月 1 回）　小学 3～6 年まで在籍
→ てくてくクラス（週 1 回）中学 1 年～高校 3 年まで在籍

1 てくてくクラス

週１回　長期間かけて一歩ずつ生きる基礎力を積み重ねる

ソーシャルスキル　見る力　聞く力　読む力　書く力　記憶する力　数量概念　集中力　意欲　自己理解

幼児クラス　幼児 年中〜年長

就学に向けて必要なスキルを少人数で学びます。週に1回、先生やお友だちに会えるのが待ち遠しい!そんな楽しさあふれるクラスです。ことばの面では聞く姿勢を身につけることを中心に、ことばの知識の増加や概念形成をうながします。視機能を鍛える課題では、文字習得の土台となる視知覚能力の向上を図ります。また、工作等の作業を取り入れることで、手先の巧緻性を伸ばします。遊びを通して、順番や勝ち負けを認めるといった基本的なソーシャルスキルも身につけます。

対象　幼児　年中〜年長児

形態　少人数指導(2〜4人程度)
小グループ構成で、ニーズやペースに合わせて指導します

開講　火水木金　15:30〜16:20　1クラス50分　年間33回

保護者の声

親にとっては、同じクラスの親同士で悩みごとを話せて、アドバイスももらえました。子どもにとっては、「本人の良さ」を先生やお友だちが認めてくださり、自信につながりました。

小学生〜高校生クラス

学校での集団行動や学習に安心して取り組めるよう、必要なルールや対応の仕方などを各自のニーズに合わせて学びます。学習や人間関係に必要なスキルを学ぶことで、自己受容をベースにした自己肯定感が育まれ、結果として学習意欲や日常生活での質が高まります。クラス内容についてはお子様のニーズと習得度、能力に応じて決定。アセスメントに基づいて小集団のグループ編成を行い、お子様の苦手なことについて指導計画に沿ってアプローチし、得意な所を伸ばしていきます。

対象　小学生〜高校生(高校生は継続のみ)

形態　少人数指導(2〜5人程度)
近い学年(年齢)で、ニーズと習得度、課題に応じて決定します

開講　火水木金　16:30〜(低学年)　17:30〜(高学年)　18:30〜(中学生以上)
1クラス50分　年間33回
土(全学年)　10:00〜　11:15〜　12:30〜 他　1クラス60分　年間28回

保護者の声

プログラムが充実していて、小学校から高校まで継続して在籍することができるため、本人も親も安心して通えました。
スペシャリストの講師陣が本人のつまずきを適切に理解し、本人と親に特性や課題を教えてくださり、心構えや対応の仕方なども指導していただきました。

てくてくクラス開始までの流れ

申込受付
お電話・HP よりお申込を受け付けます。入会希望カードと質問紙にて現状をお知らせ頂きます。

アセスメント
保護者から、現状とお悩み、将来の希望をお聞きし、WISC- Ⅳなど必要な発達検査を実施します。
面談と検査から、お子様の得意・不得意をきっちりと把握し、個人目標を設定します。

クラス編成
アセスメントした情報を元に、講師が保護者のご希望やお子様の能力、学年やニーズなどを踏まえ、編成していきます。

目標の設定
一人ひとりの年間目標と短期目標を設定。
クラスに合わせて教材を作成していきます。

クラス決定通知
クラスの曜日や時間帯、担当講師をお知らせします。

前期クラス開講
ゴールデンウィーク明けからクラスが開始!

9月　10月　・・・　2月　3月　4月　5月

2 サタデークラブ

月１回　仲間とともに生きる力を養う

ソーシャルスキル　コミュニケーション力　集団行動　役割意識　ライフスキル

ひかり　小学４年〜6 年

安心できる環境の中で仲間関係の築き方を学びます。そのために必要なスキルを SST で学び、制作や調理、外での活動などで実践していきます。活動中はねらいを意識しながら 行動し、自己理解が深まるように振り返りをします。各回終了時には達成感が生まれ、楽しい活動の中で自信をつけていきます。

対象　小学4年〜6年

定員　1グループ　6〜8人程度
ニーズと習得度、課題に応じて決定します

開講　第3土曜日　13:30〜15:30　16:00〜18:00　月1回(4、8、11月は除く)

保護者の声

子どもにとっても親にとっても学校以外の居場所、つながりの場を持つことができました。子どもは、楽しみにする場所ができたと思います。
集団活動の中で学んだお互いに妥協点を見つけて譲り合い目標を達成していくことが、学校生活の中で役に立ったようです。
親として、サポートクラスで知り合った先輩お母さんからの情報で進路へのイメージを具体的に持つことができたことが、心強く思いました。

のぞみ　中学生

毎回、前月の振り返りを通して自分なりに今月の目標を設定。それらを意識しながら活動した後は、振り返りを行います。中学生として求められる自己管理やマナーを学ぶとともに、あたたかい雰囲気のあるグループ活動を通じて集団の中での自分の動きや役割の客観的な視点を意識することができる場となっています。

対象　中学生

定員　20人程度

開講　第2土曜日　14:00〜18:00　月1回(4、8、2月は除く)

保護者の声

足並みを揃える時と個性を尊重していただけるリズムがあるから、緊張しすぎず楽な気持ちで参加できました。
苦手なプログラムだと行くのを嫌がりますが、終わってみると満足しています。
自己理解が進み自分の良いところ、悪いところを素直に出せるようになりました。そのため、性格も明るくなり、拒絶していたこともできることが増えました。
自分を抑えられるようになり、人の話を黙って聞けるようになりました。自分の意見が一番だと思っていたのが、人の意見を聞くことで、危険を回避できるそうです。

3 ステップアップクラス

月１回　就労・自立を視野に入れ、より実践的にトレーニング

ソーシャルスキル　ライフスキル　コミュニケーション力　主体性　自立意識　就労意識

一般就労を目指すにあたって必要なコミュニケーションスキルや問題解決力、ライフスキルを学びます。講師中心にクラスを進行するのではなく、子どもたちが自ら考え、行動し、結果を受けとめ、自分自身を見つめ直す機会とします。また、動画撮影を通じて、自分自身の振る舞いが周囲からどのように見られているかについて客観的に考える取り組みも行います。

対象　中学生・高校生

形態　少人数指導(8〜9人程度)
今ある力によって小グループ構成

開講　土　14:30〜16:30 ／ 17:00〜19:00
第2第3第4土曜日のいずれか
月1回(4・8月をのぞく)　年間10回

保護者の声

自分が将来、社会に出るという自覚を持つことができました。最初は毎回、緊張して通っていましたが、今は楽しく通えているようで安心しています。
進学や将来に向けて色々な内容を学び、経験したことでパニックにならないで済んでいます。
クラスに参加することで、親は親なりに、本人は本人なりに成長に伴うその時期の特性を互いに理解し、課題に取り組むことができました。
同世代のクラスメイトの言動や考えが参考になるようで、学校とは違った視点で周囲を見ることができていると思います。適度な緊張感もよい意味で感じているようです。

4 年に数回のチャンス 特別プログラム

特別プログラムは、レギュラー会員のみ参加いただけます。
開催時期・回数は未定です。
他にもご要望・ニーズに応じて様々なプログラムを企画しています。

例 女の子プログラム

女の子特有の人間関係や社会の目を意識したプログラムです。少しおしゃれをして集まり、身だしなみを整えてから活動します。例えば、前もって学んでおいたテーブルマナーや会話のポイント、食べるスピードなど意識して食事を楽しむ、公共機関やお店での振舞い方を皆で確認してから買い物をする、おもてなしの心を表すための行動を考えて練習をした後で講座を受ける等の内容もあります。

開講 年1回　夏休み

例 わんぱく遠足

館外へ飛び出し、普段のプログラムよりも幅広い活動に取り組みます。グループの仲間と協力してクイズに答えたりミッションをクリアしたりと、探求心や好奇心をくすぐられる内容が盛りだくさんです。物・時間・お金などの自己管理を心掛けつつ、上手に助けを求める力や集団の中で自分の意見を伝える力、グループや仲間のために自分ができることを考える心を培う良い機会となります。

開講 年1回　夏休み

5 楽しく体を動かしながら、自らの可能性を広げよう！ 連携プログラム

サポート体育

お問い合わせ 土佐堀YMCAウエルネスセンター TEL:06-6441-0895

「運動が苦手」「体育は嫌い」というお子様でも、トランポリンやスクーターボード、ゲームを取り入れて、楽しく体を動かすことができるクラスです。
運動に取り組み体を作ることは、学習にとっても大切な役割を担っています。机に向かって学習に取り組むためには、正しい姿勢を保ち、話し手にしっかりと注意を向けられることが必要です。
思い切り体を動かしたい子どもたちや、普段学校でストレスを抱えがちな子どもたちにとって、存分に体を動かし発散できる場所になっています。

対象 年長～6年生
定員 25人程度
開講 土　10:20～11:20
週1回

野遊びクラブ

お問い合わせ 北YMCA TEL:06-6842-3360

集団生活が苦手で協調性を身につけたい子どもたちや、動きがゆっくりで学校の中でのペースについていきにくい子どもたちに、自分が受け入れられていると実感できる安全な場所を提供し、LD（限局性学習症）児及びその周辺（知的に遅れのない自閉スペクトラム症など）の子どもたちだけではなく、友だちを作りづらい、社会性を身につけたい子ども、動作のゆっくりといったニーズの子どもたちも参加できます。

対象 小学生
定員 40人程度
開講 日　9:00～16:00
年間8回　月1回

修了生の声

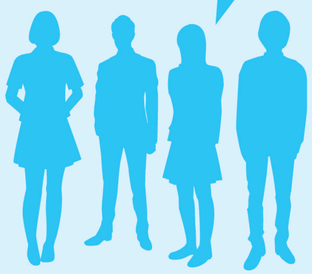
修了生にサポートクラスでの学びを振り返ってもらいました。

クラスに通う中で、自分も社会の一員としてしっかりとした人間にならないといけないと思いました。今まで周りのことをあまり考えていなかったので、もっと周りのことを考えて生活していきたいです。

サポートクラスに通わなければ社会に出るまで知ることのなかったであろうことをたくさん学ぶことができました。ここで学んだことは社会に出たときにしっかり自分の役にたてようと思いました。

社会に出た際の対人関係で、人といかに上手く付き合っていくか等を学習する場所でした。通う前と比べてクラスメイトともめることが減り、安定した学校生活を送ることができました。

クラスに通ってみて、最初は知らない人とは会話とかできなかったけれど、色々な人とコミュニケーションを少しずつとれるようになってきて、知らない人と話せるようになって、とても役立っています。コミュニケーションだけでなく、仕事や社会ってどんなものかわかることもできたし、その大変さもわかったので、クラスに通ってみてよかったと思いました。



自分に足りないスキルを身につけることができたり、他人の意見などを知って、同じ内容でも色々な考えを知ることができました。サポートクラスを卒業した後も学んだことを社会で生かすことができると思った。

最初は通うことの意義をあまり見いだせていませんでした。しかし、社会生活のために絶対に学校では教えてくれない大切なことを教えてくれる場所だと今は思います。クラスは楽しいと思えたし、社会生活は自信が持てるようになるようなクラスだと思いました。

自分の弱いところをたくさん見つけることができました。そして困ったことがあった時はこうすればいいなどの考えを与えてくれる場所だと思います。ここは一度通ってみるべきだと思いました。

ぼくは社会に出るときに必要な「何か」を学ぶことができました。具体的に言うと、ぼくは昔は、他人と関わることもあまりなく、一人でいることが多かったのですが、ここに来てからは他人と話すことも増え、それを学校で生かすことができました。ここに通ったことで、社会に出る一歩になったと思いました。

自分の足りないところを見つけたり、長所を生かす場所だと思います。また人間的にも成長できたと思います。

実際に社会に出て行ったときに起きそうなシチュエーションに対して「自分ならどうするか」について、たくさんのことを学びました。自分はこう思っているけれど、実際はこの方がよいと気づいた時に新たな学びを得ることができました。

充実の保護者サポート

YMCA では様々なプログラムや相談などを通して、保護者のサポートを行っています。

ペアレント・トレーニング

開講 土　14:30～16:30　第1第4土曜日のいずれか(6～2月)　年間8回

子どもへの対応を見直し、親子間のよりよい関係性を築くための保護者向けの連続講座です。子どもの行動を観察するコツを学び、子どもの本当の気持ちや行動の理由を見つけていきます。今は「子どもが言うことを聞いてくれない」「毎日、叱ってばかり」「がんばっているのに、上手くいかない」「日々、なぜかイライラしていることが多い」「子どもにどうかかわれば良いか分からない」・・・けれど、本当は、「もっとゆとりを持って子どもとかかわりたい」と願う保護者の方にお勧めです。初めて受ける方も、何度目かの方も、その時々の子どもの様子に合わせてより良い関係を作っていくことを目的に参加されています。また、修了後にはフォローアップ講座を行っており、同窓会のような雰囲気の中で、日頃忘れがちなポイントを思い出す機会を提供しています。ご参加の皆様にとって、同じ子育て中の方々とお互いに励ましあえる場、同じ目標を持った仲間と一緒に学べる場 となっています。

保護者の声

親も子も、取り組めばどんどん変わることに、確信が持てるようになった（小4:女児）
自分もやる気が出る対応や、目標の定め方などが分かったように思う（小4:男児）
ほかの参加者の話から学ぶことが多かった（小2:男児）
子どもを変えるのではなく、自分が視点・言動・対応を変えるように気持ちが変わった。（小3:女児）
できないことが多い子だと思っていて常に指示を出していたが、自分でできる子だと気づけた。（小5:男児）
子どもの事が以前より好きになれた。(小6:男児)
子どもの行動、自分の行動を改めて見直すことができた。（小3:男児）
私だけが大変だと思っていたが、同じような悩みを持った人がいたとわかってよかった（小5:男児）

サポートグループ

開講 年3回程度

基本、年 3 回、保護者向けの勉強会を行っています。
【実施内容、例】
中学卒業後の進路について・学校へのお願いの仕方と家庭での取り組み・思春期においてよく起こりうるトラブルについて（男女交際や携帯電話など）・ほめ方ミニ講座（ペアレント・トレーニングより）・進路を決める時の考え方（保護者の体験談から）

YMCA 総合教育センターとの連携・発達相談等

サポートクラスに在籍しつつ、保護者の方が総合教育センターで定期的に発達相談等を受けることもできます。

講師との面談

てくてくクラスでは年 2 回の面談日を設定していただけます。月 1 回クラスでもご希望によりご相談を承っています。学校の先生とお話させて頂くことも可能です。

各種支援セミナー

総合教育センターと連携して、年 2 回、第一線でご活躍の先生方をお招きして、講演会を行なっています。2016 年度には、20 周年事業として、サポートクラスの元在籍生とその保護者に体験を語って頂く座談会を行い、好評をいただきました。

かけがえのない命 自己肯定感をもって豊かな人生を！

子どもたちに出会って約 30 年。子どもたちから得ることが多く、私の人生も大きく変わりました。外からではわかりづらい困り感や独特の考え方に触れるたびに、私の感性は揺り動かされました。そして保護者の声を聴かせていただきながら、多くの「場」を創ってきました。そこで私が実感したことは安心できる環境と関係性で、もともと子どもたちが持っていた可能性が大きく伸びるということ。「弱い人」と思われがちな子どもたちが周りを照らす人になっていくこと。そこには「自己肯定感」が大きく作用します。できるのなら誰もが大人になる前に自己肯定感を持つことを望みます。「足りない自分だけどまあいいや」と思えた子どもは人に優しくなれます。不満を口にしたり、人と比べたりしなくなります。幸せで豊かな人生を送ることができます。自己肯定感をもった大人が多くなると、世界が優しくなります。私たちは、子どもたちが「自分がかけがえのない存在である」ことに気が付いてほしいと願い、一つひとつの言葉や態度も大事にしています。でもクラスでは「教えることのできないもの」もあります。「自分らしく生きる」「愛する」「思いやる」どんなに言葉を尽くしても説明しても教えられないものです。子どもたちが自らそれを経験し、生きてみないとわからないことです。かけがえのない命をもっているということ、自分の思いや存在を尊重される経験を経て、初めて人は「人を思いやる」とはどういうことか知ります。YMCA はそのような教育の場でありたいと思っています。
子どもたちの幸せを願って「みつかる、つながる、よくなっていく」それが YMCA です。

ディレクター /
発達支援事業部責任者 /
特別支援教育士
鍛治田 千文